

平成21年度 決算に対する 各党派の見解

厳しい財政状況だが、健全化を図れ

自由民主党議員団

平成20年から始まった世界金融危機に端を発し、平成21年度の財政状況に厳しい影響がある中、緊急経済・雇用対策を展開しました。また、地域経済に大きく対応すると共に、新型インフルエンザ対策や高齢者健診の検査項目の追加など区民の健康を守る施策の充実を図りました。さらに、野方駅整備や警察大学校等跡地の都市計画道路整備など将来を見据えた取り組みを進めてきたこと、街路灯のLED化や公園内灯の省エネ化など環境対策にも成果を上げてきたことも評価いたします。

一方は直ちに検証し改善すべきです。不用額については、計画や見通しの甘さによる執行率の低下は改善していく必要があります。予算計上した事業は、進捗状況や制度の運営状況に注視して、予算の適切な執行に努めるべきです。そして、審議会・審査会などの委員報酬や非常勤職員の報酬については、継続的に報酬額を見直すなど、適切に運営していくために、常に改善を図る必要があります。最後に、現在の財政状況を踏まえ、財政指数を一層注視し、経費節減に努めるとともに、起債や基金の計画的な活用など、財政の健全性を確保していくことを強く求めます。

不況と失政から区民生活を守れたか

日本共産党議員団

経済危機が区民生活を襲い、09年度一般会計決算は、歳入では区民税と特別区交付金の減収にその影響が現れました。政府が続けてきた大企業と大資産家向けの減税政策による失政が一層厳しさを増幅させたといえます。

独自の上乘せを図り事業を実施したことは歓迎、評価できます。しかし、例えば、後期高齢者医療健診と特定健診及びがん検診実施については、他区に全てあるいは大半が自己負担無しであるのに対し、区は無料化に背を向け続けています。また、焦眉の課題であった保育待機児解消に真剣に臨むようとしませんでした。一方で、中野駅周辺などの開発事業は温存して、予算執行しました。また、43億円と多額の不用額を生んだことは、単に執行上の工夫にとどまらず、予算編成での事業の見積もりや制度設計の検討の不備、更に、執行抑制により、財源確保を理由に区民施策に届えなかったことは問題です。

歳出をみると扶助費、中でも生活保護費が増加し、今後更に増え続けることは必至です。ここでも当時の政府が進めた雇用破壊や社会保障費の削減と負担増が、生活基盤を崩した影響がみられます。それだけに、区民生活を守ることを最優先に予算を組み、執行することが何より必要でした。

緊急雇用経済対策等を活用し、更に区

財源見通しを確実に施策の実施を

公明党議員団

平成21年度中野区普通会計決算は、特別区税や財政調整交付金が減少する中、歳入1229億円余、歳出1213億円余となり、ともに近年類のない大幅増の決算となった。

策、私立幼稚園保護者補助金、小中学校の耐震改修、西武沿線まちづくりや防災公園整備等を講じたことは評価できる。しかし、待機児解消のための保育施設整備を進めてきたものの、景気を反映しての大幅な需要増加に追いついていない等の課題を残した。

各種財政指標は、実質収支比率1・3%、経常収支比率87・5%、公債費比率9・3%と前年度より悪化しており、それぞれが特別区平均より悪い。事業執行内容については、景気の変動より区民生活を守るために、我が党が強く要望してきた緊急融資制度の拡充、プレミアム商品券支援、街路灯のLED化、高齢者の健診項目の拡充、女性特有のがん検診クーポン、小児予防接種の助成、新型インフルエンザ対

今後の区税収入の推移を考察すれば、区の行財政運営を取り巻く状況は、更に厳しくなることが見込まれ、財政運営に一層の慎重さが求められる。区民生活を守り支えていくための効果的な施策・制度設計と、将来負担を見据えた「選択と集中」による戦略的な財政運営、加えて、都市基盤整備の賢明な実施を強く望む。

緊張感をもって財政運営にあたれ

民主クラブ

平成21年度決算は、歳入、歳出とも1200億円を超え、その規模は最大となったものの、財政状況を示す各種指標は、前年度と比較しても急激に悪化しており、引き続き厳しい財政運営が求められると見られます。

空の人工地盤整備など、区民要望の強い事業を確実に進めたことを評価します。さらに、離職者への対策として、生活相談、住宅手当相談やハローワークの協力による就職相談等の総合窓口を設置したことは、生活者の立場に立った、タイムリーな事業でした。

こうした状況の中、区立小中学校のうち、耐震性能Bランクの校舎・体育館まで耐震補強工事を行ったこと、防犯カメラの設置補助、新型インフルエンザ対策ワクチン接種助成などの施策に加え、中野区政のBCP(中野区事業継続計画)の策定を行うなど危機管理対策に重点をおいたこと、また野方駅整備、西武新宿線沿線まちづくり計画の策定、東中野駅前広場及び線路上

一方で前年も問題になった不用額の多さについて、本年も各分野で、執行率の低い事業が散見されました。予算段階での確実な見積もりが必要で、経済状況が厳しい折、限られた財源をより有効に生かすことはもちろんのこと、自治体として為すべき徴収対策に、着実に取り組んで行くことを求めて行きます。

キッズページ

みんなごみてね 「わたしたちの中野区議会」

中野区議会ホームページのキッズページでは、議会のしくみをわかりやすく説明しています。ホームページの「わたしたちの中野区議会」の中に掲載しています。どうぞご利用ください。



中野区議会ホームページをご利用ください

中野区議会では、いち早く区民のみなさまへ情報をお届けするため、ホームページを開設しています。会議録、委員会資料、議員紹介、区議会からのお知らせなどがご覧いただけます。ぜひご利用ください。